



神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2012-2013年度 R I 会長 田中 作次

●クラブテーマ「調和・Balance」●



第2590地区 ガバナー
露木 雄二

- 会長 飯田 泰之
- 会長エレクト 伊東 英紀
- 副会長 山田 正憲
- 副会長 吉田 隆男
- 幹事 西山 潔
- 副幹事 山本 芳弘
- 会計 朝日 達夫
- 副会計 金森 欣一
- S A A 横溝 亘
- 副 S A A 矢野 修二
- 副 S A A 河野 明光
- クラブ会報 森永 健



写真提供 小池将夫会員

事務局 ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555
例会日 毎週金曜日 0:30 ~ 1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)
例会場 ホテルキャメロットジャパン (創立記念日 昭和51年5月29日)
URL <http://www.kanagawahigashi.com/>
E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

2012-2013年度 **第40週報 No. 1787** 2013年(平成25年)5月10日 第1787回例会記録 5月24日発行

司会 山本 芳弘 副幹事

特別行事 ◎米山奨学生金贈呈 李 徳雨 様
◎支援金贈呈 Miss.Crystal

点鐘 飯田 泰之 会長

斉唱 「君が代」 「奉仕の理想」

四つのテスト 江森 国一 職業奉仕副委員長
(第1例会のみ)

ゲスト紹介 李 徳雨 様 (米山奨学生)
Miss.Crystal (ルーヤンR.Cからの受入学生)

ビジター紹介 川崎マリーンR.C 伊藤 秀司 様



本日〈5月24日〉のプログラム

- ◆ 斉唱 「それこそロータリー」
- ◆ 献立 イサキのボワレ
- ◆ 卓話 「戦後の黒澤明映画に隠された意味」
大衆文化評論家 指田 文夫 様
(紹介者 小山 市康 会員)

誕生日祝

須永 久一 会員 (5月11日)
金森 欣一 会員 (5月11日)
友添 辰哉 会員 (5月12日)



米山功労者 (2回) 朝日 達夫 会員

結婚記念日祝

石川 正三 会員 (5月12日)
西山 潔 会員 (5月14日)
青柳 紀 会員 (5月22日)



会長報告

飯田 泰之 会長

- ・地区より2015-16年度ガバナーノミニー確定宣言が来ております。当地区指名委員会は2015-16年度ガバナーノミニー候補者として箕田敏彦 (ミノダトシヒコ) 氏 (横浜R. C) を指名し、他に候補者の推薦がなかったので5月1日付で同氏を2590地区2015-16年度ガバナーノミニー被指名者に確定したことを宣言しました。
- ・米山寄付表彰・・・米山功労者 (2回) 朝日達夫会員

幹事報告

西山 潔 幹事

- ・本日、例会終了後に5月度定例理事会を開催します。
- ・次週、17日の例会は19日に移動例会「春の家族会」となりますので、お間違えないようよろしくお願い致します。

委員会報告

国際奉仕委員会 委員長 白鳥 厚夫

- ①本日、神奈川東R. Cホームページに写真入り名簿を掲載する事に対するアンケート調査を皆様に配布致しました。5月17日までにアンケート調査の提出をお願い致します。アンケート調査を参考にさせて頂き理事会等で決定したいと考えております。
- ②4月26日 (金) 台北滬尾R. Cの第7周年創立記念に西山幹事、吉田副会長、田邊P P、須永さん、白鳥が出席致しました。津島R. Cから7人、台北の他R. Cから多数参加され、去年と同じ規模でした。
今年台北滬尾R. C会長の突然の病気で、神奈川東R. Cに訪問出来ませんでしたが、飯田会長の挨拶文にも含まれておりました様に、両クラブの姉妹クラブとしての親密な関係を確かめ合い将来につながったと信じております。

雑誌委員会 委員 岩澤 利雄

『ロータリーの友5月号』では、3～17ページにわたってポリオについての記事が掲載されています。

古いメンバーの方はご記憶にあると思いますが、10数年以上前でしょうか、ポリオ絶滅宣言が国際ロータリーから出されたことがありました。ポリオ関係の拠出金もなくなり、良かったと思ううちにまた復活してしまい記事のような現状です。どこの認識が間違っていたのか説明もなかったような気がしますが・・・私の記憶違いでなければよいのですが・・・

横組み35ページには「あなたはなぜロータリアン？」という問いかけがあります。初心に戻って自分を見直す必要があるようです。

縦組みトップページはアンコールワットについての興味ある記事です。比較的近い所にあるのに私はアンコールワットを見たことがありません。是非、今度行く機会を作りたいと思わせる内容でした。

表紙の写真で「なんじゃもんじゃ」の木の満開の様子を写しております。勉強になりますね。

スマイルボックス 矢野 修二 副SAA

川崎マリンR.C 伊藤秀司様 本日はよろしくお願ひ致します。

須永久一君 本日は誕生日のお祝いを頂き、誠にありがとうございます。残り少ない人生、健康に注意しながら頑張りたいと思います。

友添辰哉君 誕生日祝い、ありがとうございます。

金森欣一君 本日は、お誕生日祝いをありがとうございます。とうとう50代最後のバースデイとなってしまいました。

石川正三君 感謝の言葉を二つ・・・①月山さん、山木さんを始め多くの皆様、先日はありがとうございました。②先程もお話しました様に、仏滅の日に結婚して明後日で半世紀。お蔭様で金婚式を迎えます。お祝いをありがとうございます。

青柳 紀君 友が皆我よりエラク見える日は、花を飾りて妻と親しむ。結婚祝い、ありがとうございます。

西山 潔君 ①結婚記念日のお祝い、ありがとうございます。30年になります。②昨日のテーブルミーティング、諸事情で欠席し、大変申し訳ございませんでした。

飯田泰之君 ①第3テーブルミーティング参加の皆様、ご苦勞様でした。②米山奨学生の李徳雨さん、本日の卓話、よろしくお願ひします。

富居利貞君 先日、石川さん、河野さんに大変お世話になりました。

吉田隆男君 ①月山さん、森永さん、昨日は有意義なテーブルミーティング、ありがとうございます。②クリスタルを連れて来ました。漢字もどンドン覚えて、一生懸命勉強しています。③台湾へ公式訪問に行ってきた。疲れしました。

岩澤利雄君 本日、所用の為、早めに退席致します。

月山 勇君 昨日の第3テーブルミーティング参加の皆様、お疲れ様でした。特に矢野さんには資料までお持ち頂き、恐れ入ります。有意義な会になりました。

山本 登君 時差ボケ中です。いつでも眠れます。

伊東英紀君 第3テーブルミーティング出席の皆様、ご苦勞様でした。月山さん、森永さん、お世話になりました。有意義なテーブルミーティングでした。

伊澤政宏君 昨日のテーブルミーティング参加の皆様、ご苦勞様でした。月山マスター、森永副マスター、ありがとうございます。大変勉強になりました。

山本芳弘君 昨日のTMご参加の方々、お疲れ様でした。

山田正憲君 ①昨日のテーブルミーティング参加の皆様、お疲れ様でした。月山・森永両マスター、お世話になりました。②李君、本日の卓話、よろしく！

茂木知子さん ～パパをつかむ～ 初めて入会記念の花束を頂戴した河野会員、次は違う花束（結婚祝いのことかもしれない）を貰ったらと、おだてられていました。本気にしたのか、「次はパパ抜きでいきたい」とつぶやいていました。その様なことをいう人ほどパパをつかむ可能性が高いと思われれます。気を付けて下さい。

森永 健君 昨夜の第3テーブルミーティングに多数のご出席、ありがとうございます。大変勉強になりました。

小山市康君 李徳雨君、今日はありがとう。若い目で見える世界観が楽しみです。

横溝 亘君 月山マスター、森永サブマスター、昨日の第3テーブルミーティング、素晴らしい会でした。ありがとうございます。

河野明光君 ①本日は所用があり早退する為、李君の卓話をお聞きすることが出来ず、ごめんなさい！会報を読ませて頂きますネ。②昨日のテーブルミーティング、月山マスター、森永副マスター、ご苦勞様でした。

矢野修二君 ①第3テーブルミーティング出席の皆様、ご苦勞様でした。②李君、本日の卓話、楽しみにしています。

5月10日	23件	80,280円
本年度累計		1,928,280円

出席報告

竹山 洋 出席委員長

会員総数	54名	(37+17)名	
出席会員数	43名	(29+14)名	
出席率	84.31%		
ゲスト	2名	ビジター	1名
前回補正後	90.20%	前々回補正後	90.00%

卓話

「ブラジルにおける日系人と韓人の食文化、そしてロータリークラブ」

ロータリー米山奨学生 李 徳雨 様



1. ブラジルサンパウロにおける日系人と韓人の食文化

移民というのは、辞書的な意味で生活の基盤をそのまま他国に移して住むという意味であるが、広義的な意味としては、物理的な移民と精神的な移民に分けて見ることができる。物理的な移民は生活の場を違う場所に移動することであるが、精神的な移民は、文化的

な移動、つまり文化が移民する人々と共に移動し、変化することである。母国での自分たちの文化を他国に持って行き、そこに新しい文化と出会う現象を「文化接変」といい、移民生活を始めてから現れ、それが続く限り継続的に彼らの考えの中に存在するものである。

文化接変現象の中で最も基本的なことは衣食住の文化である。特にその中で、生産と消費活動的な面で最も旺盛な活動が現れるものが食生活である。たとえば、食べ物を食べる行為は、毎日しなければならないし、生命維持をするために直接的な関係がある。このような毎日食べる消費行為は、生産という行為を伴うものであり、生産と消費の関係が必要不可欠な条件である。

「移民」をする人々を日本語では移民者、日系人といい、韓国では移民者、韓人(カンジン)と呼ぶ。また、韓人達が意見の交換や共同体を形成する環境などを韓国語では「韓人社会」と呼んでいる。ブラジル韓人移民の歴史は、今から50年前に始まった。公式な移民の歴史は大韓民国政府樹立以後の1962年から政策によってブラジルへの移民船が釜山から出発したことを想定している。1962年1月に「文化使節団」という名称で移民してきた15人が彼らであり、そこから2013年を「ブラジル韓人移民50周年」と銘打った。現在、約6万人余りの韓人がブラジルに住んでおり、サンパウロでは2万5千人程度が住んでいる。筆者が訪問したサンパウロでは「ブラジル韓人移民50周年」の準備で慌ただしい雰囲気であった。

本稿は、2013. 2. 17(日)～3. 9(土)までの21日間、ブラジルのサンパウロに住んでいる日系人、韓国移民者たちの食生活調査報告書である。また、調査対象者は移民初期に移住した移民者から2世までを想定し、食生活全般についての調査、特に食べ物に関しての適応と変化という過程の中で、彼らの認識を中心に資料収集と聞き取り調査を行った。調査日程は、3週間と短く、50余年間の韓人達の食生活を記録することは簡単なことではない。そして個々の空間と共同的な空間が共存する食生活を同時に記録し、分析するためにはある程度の基準を決めないと難しいため、筆者はすべての情報提供者に対し必ず行った質問があった。それは韓国の代表的な食べ物であるキムチ(白菜、唐辛子粉、塩)、白いご飯(お米)、味噌(大豆)などの食べ物を基準に移民初期にどのようにこれらの食べ物を食べたのか、そして今では、どのように食べているのかという質問であった。韓国人にとって、上記の三つの食べ物や食材は、他のものに比べて最も多く消費されているものである。筆者は、移民初期にこれらの食材や食べ物を手に入れることが難しく、量的な問題があったと推測してこのような質問をしたところ、意外な答えを聞いた。まずキムチの場合は、韓人より先に定着した日系人たちが白菜、大根などの野菜を流通していたので、彼らのおかげでキムチを作ることがあまり難しくはなかった。これは、お味噌、ご飯も同じであった。韓国より移民の歴史が50年ほど長い日系人が作って流通させていたお味噌、醤油を手に入れることができ、日系人の農場からお米や野菜などを買って食べる事ができた。つまり、日系人のおかげで韓人たちは移民初期の食生活に余り困らなかつたという話である。また、同じ東洋人という共感もあり、お互いに仲良くしていたという話も聞くことができた。そして、基本的に肉食を中心とするブラジルの食習慣は、韓人達の肉食回数を増加させることになった。韓人のブラジル移民初期当時の韓国では、肉を食べることは非日常の食事であったが、ブラジルに移民した後、低価格で食肉

を手に入れることができ、肉を食べる機会も増えたという話は移民たちの共通の話であった。また、ブラジル料理と韓国料理の文化接変現象の中でも食べ物に困ったことは特になかったという。

1960年代の韓国では、端境期で食糧を簡単に手に入れることは難しかった時代であった。このような韓国から離れて、ブラジルに移民を決めた当初の韓人達は、豊かな食生活をする事ができ、このおかげで彼らが生業に集中することができた。従って、日本より50年以上遅れた移民の歴史にもかかわらず、最近、ブラジル国内の様々な産業に韓人達が多く進出し、ボンヘチロにはコリアタウンが形成され、ファッションの中心街と呼ばれている。そして韓国料理のお店は、韓人達が集まることができる場所として、情報交換の場でもあり、集会の場所として使用されている。

現在ボンヘチロには数十店舗の韓国料理専門店があり、100店舗を超える韓人経営の衣服店がある。また筆者がボンヘチロに行った際、あちこちから韓国語が聞こえ、まるで韓国にいるような印象を受けた。

2. リベルダーヂ (Liberdade) のロータリークラブ



次回《5月31日》の予定
夜間例会